

日時：令和 6 年 2 月 4 日（日）19 時 00 分～

ZOOM によるオンライン会議

参加者 太田、落合、神谷、齋藤、西藤、崎山、田川、田原、長井、永井、中野、中村、藤岡、牟田、横田、吉川

欠席 八木

開会 委員長挨拶

報告事項

1. 第 33 回 日本外来小児科学会 年次集会準備状況

WS 開催予定 >

「他所はどうしている？」うちではこのようにして予防接種をしています。（中村）
昨年と同様に行う。

委員会企画については、企画の要請があったが、日曜日午後の時間で参加者数も望めず、委員会委員の出席も難しい状況。他企画とのバッティングも危惧されたため、参加見合わせ。

2. 日本小児科学会予防接種・感染対策委員会報告（中野先生）

4 月以降の予防接種の改変に向けて、スケジュール表を含めた改変の準備を進めている

3. 日本小児科医会 公衆衛生委員会（藤岡先生 田原先生）

各県での予防接種助成の状況調査

4. おたふくかぜワクチンの副反応調査（西藤先生）

小児科学会雑誌 1 月号に結果を発表した。

厚労省の委員会での報告を行った。今後定期接種化に向けた議論が進んでいくだろうことを期待している。

MMR の治験が現在進行中である。これとの関係になるかもしれない。MMR の治験は現在接種後年を経たの抗体価調査を始める。ここで非劣性が証明されるかどうか。

5. E-learning 問題について（長井先生）

現在総論の問題を公開中である。長井先生担当の vaccine hesitancy の問題を次回の e-learning 委員会で検討する予定

6. 静岡県での日本脳炎ワクチン接種（太田先生）

静岡県で昨年日本脳炎患者が発生したことを受け、6 か月以降の接種を積極的に勧めるという話になった。県が市町村と連携して積極的に勧奨をする。

7. 「親子でまなぶ予防接種」発行のお知らせ。（横田先生）

漫画形式のパンフレット、各県に配布された。1部100円

協議事項

今後の本委員会の活動計画について

1 調査事業 感染症動向調査

西藤先生が立ち上げて現在も継続している、ML-flu を使用している登録調査。

現在は谷口先生（三重病院）の研究費で継続できているが、先行きは分からない。

また、COVID-19 の調査などのために、表面を改変したい。

この登録費用の一部、ないしは全部を学会で補助。学会がだめなら 小児科医会でも引き受けられるか どうかの検討をしましょう

2 ワクチン接種勧奨

HPV ワクチン勧奨 学校や会社でのワクチン接種

田川先生から 大村市で実施している学校（看護師の学校 対象者がいるだろう組織）での出張接種（出前接種）の解説

3 小児科学会が行っている WS について

ワクチン忌避に対する動機づけ面接トレーニングワークショップ

我々の学会にこの WS を招致するかどうか。

ワークショップのファシリテーターになれる人が我々の学会内にも必要

この WS は米国のものの導入で、実際の外来場面での応用には難しいところがある。

4 研究事業（共同研究の提案）

Spot Fire を利用する施設での共同研究

西藤先生から 多項目ウイルスの登録 事業について説明があった。